あぶたん つうしん

仙台南部流域治水出張所だより

令和7年11月27日発行

発　行 ： 国土交通省　東北地方整備局　仙台河川国道事務所
仙台南部流域治水出張所
〒989-2441　岩沼市館下1丁目2番9号　☎0223-22-2801 FAX:0223-22-2802



11月1日午後、阿武隈大堰管理橋に子どもたちの歓声が響きました。
訪れた28名はイベント『舟にのって学ぶ阿武隈川in丸森』に参加した小学生。
阿武隈川サミット実行委員会主催のイベントで、阿武隈川流域22市町村に住む子どもたちです。
岩沼市からも9名が参加しました！



大堰管理庁舎で大堰の仕組みと避難の大切さの学習をしたあとは、歩いて大堰へGO♪
前日まで上流に停滞した低気圧の影響で、阿武隈川は水流たっぷり。
堰から放流される迫力満点の水の勢いと吹きつける風を満喫しました。

阿武隈大堰見学できます！詳しくはこちら☞
仙台河川国道事務所 インスタグラム

また、11月15日には同じ阿武隈川サミット実行委員会主催による『阿武隈川源流探検』が開催され、こちらも亘理町から小学生1名が参加しました。

「源流の自然の豊かさを、肌で感じながら自分の目で見て学んで欲しい」と主催者。きっと学びと発見の一日になったはず♪

小中学生 大堰訪問！



新甲子遊歩道でガイドさんと生物学習



堀川ダム 浸透流観測設備



こちらは中学生による大堰訪問。
仙台市内から5つの中学校が職場体験学習で大堰を訪れました。

10/29 北仙台中・郡山中（7名）
11/12　八木山中・袋原中・富沢中（8名）

阿武隈大堰での職場体験学習は、大堰の見学と説明がメインです。説明では『インフラ』という言葉がよくでてきます。『インフラ』とはインフラストラクチャーの略称。社会や産業、生活の基盤となる施設や設備のことで、代表例としては次のものです⇒ 道路・港湾・鉄道・通信施設・ダム・発電所・学校・病院・公園・上下水道・電気・ガス…

いずれも国民生活を下支えする大切なもので、これらインフラの維持・発展のため多くの公務員が働いています。
もちろん民間企業も！

日常の便利な暮らしのために見えないところでたくさんの労力と費用が投入されていることを、大堰の説明をきっかけに気づいてもらえたらいいなぁと思いました。


管理橋内　堰柱機械室

小中学生からの質問 あるある
魚道があのカタチなのはナゼ？？

魚道の設計は、施設を利用する全魚種を対象として、遡上能力が弱い魚でも遡上できるように設計・検討されます。
阿武隈大堰の魚道は、遡上能力が弱い『鮎』でも遡上出来る最大流速を2m/sとして設計され、模型実験を経て現在の魚道として完成しました。



灯油流出事故多発の時期 ～回収や処理にかかる費用は原因者の負担です～

農作物の被害に対する損害賠償を求められることも…！

暖房器具の使用が増えるこの時期は、家庭で扱う灯油が流出し、側溝などを通じて河川に流入する事故が多発します。
流出した灯油は火災の原因となるばかりではなく、水路や河川の環境汚染、断水等の甚大な被害をもたらす危険性があります。

家庭での注意ポイント



ホームタンクからポリタンクに小分けする間に付近の除雪をしているとあふれてしまった…

小さな地震でホームタンクが倒れてしまった…

閉めたつもりが閉まってなかった…



- 灯油を取り扱うときに目を離さない。その場を離れない。
- ホームタンクが転倒しないよう確実に固定する。
- ホームタンクのバルブやポリタンクの蓋をしっかりと閉める。閉めた後は、閉まっていることを確認する。
- 配管等から漏れがないか、ホームタンクの状態を定期的に点検する。

流出を起こしてしまった場合は、新聞紙等で流出を止める処置を行い、速やかに消防署へご連絡ください。



油流出が河川で発見された場合、油の更なる拡散を防ぐために『オイルフェンス』を使用します。
10月21日、阿武隈川右岸河川敷で阿武隈川水系（下流支局）・名取川水系 水質汚濁対策連絡協議会の関係者約80名が、あぶくま消防本部の皆さんの指導のもと、オイルフェンスの設置訓練を行いました。



岩沼市・亘理町の上水道だけでなく、農業用水・工業用水としても利用される阿武隈川の水。
油に限らずできるだけキレイな状態で流れてきてほしいっちゃ～

押分排水機場の排水ポンプ確認点検のお知らせ 水位が上昇します



★12月15日（月）～12月18日（木）

上記期間中、五間堀川の水位（志引橋地点）が最大1m程度上昇します。
また、五間堀川の水位上昇区間で接続している境堀、丸沼堀、内矢来堀、外矢来堀の水位も五間堀川に合わせて上昇します。

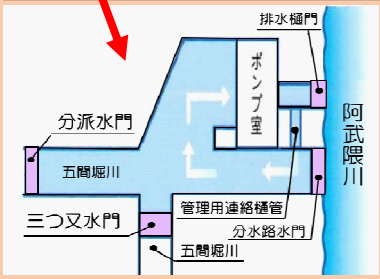
この動作確認・点検は毎年1回、操作員による運転手順の確認と設備の点検を行い、岩沼市民の皆様が安心して生活していただけるように実施するものです。
ご理解とご協力をお願いいたします。

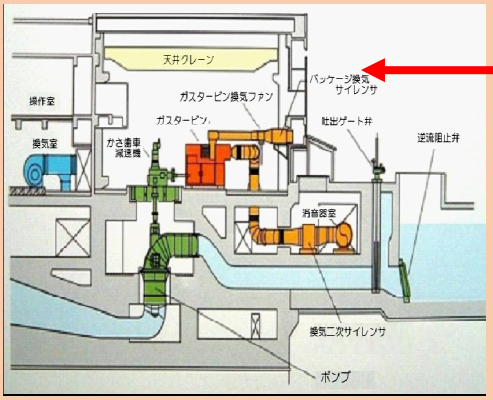
近くを通るときは、普段に増して気をつけてほしいっちゃ！



問合わせ先
国土交通省 仙台河川国道事務所
防災課 （☎022-248-0064）







押分排水機場の排水ポンプ確認点検とは？

動作確認点検は、実際の洪水時に問題なくポンプが稼働するよう備えるために実施します。
五間堀川の水を管理運転ができる水位まで貯め、本来、阿武隈川へ排水するルートではなく、バイパスゲート（管理用連絡樋管）を使用して、水が循環するルートを使って管理運転を行います。